

都市再生整備計画 事後評価シート
美濃加茂市駅北地区

平成25年3月

岐阜県美濃加茂市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	美濃加茂市		地区名	美濃加茂市駅北地区			面積	68ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	113百万円		国費率	0.400			
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業		事業名										
		基幹事業	市道318号線道路改良事業、市道166号線道路改良事業、市道11007号線道路改良事業、国道248号歩道設置事業										
		提案事業	事業効果分析事業										
	当初計画 から 削除した 事業		事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	市道452号線道路改良事業				市単独の関連事業として実施			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
		基幹事業	市道狭小交差点改良事業				市単独の関連事業として実施			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
		基幹事業	市道407号線道路改良事業				市単独の関連事業として実施			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
		基幹事業	市道167号線他5路線道路改良事業				事業箇所増加に伴い名称を「市道 167号線他8路線道路改良事業」に変更し、事業を実施			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
		基幹事業	(仮称)北一公園建設事業				市単独の関連事業として実施			指標③の公園入場者数に影響があるため、目標値を変更(対象面積で按分)			
		基幹事業	(仮称)加茂川緑地整備事業(その1)				名称を「大塚公園改修事業」に変更			指標③の公園入場者数に影響があるため、目標値を変更(対象面積で按分)			
		基幹事業	(仮称)加茂川緑地整備事業(その2)				市単独の関連事業として実施			指標③の公園入場者数に影響があるため、目標値を変更(対象面積で按分)			
		基幹事業	公共サイン設置事業				市単独の関連事業として実施			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
		基幹事業	加茂川沿道整備事業				市単独の関連事業として実施			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
	新たに追加 した事業	基幹事業	市道167号線他8路線道路改良事業				「市道 167号線他5路線道路改良事業」の事業箇所増加に伴い名称を変更			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
		基幹事業	大塚公園改修事業				(仮称)加茂川緑地整備事業(その1)の名称を「大塚公園改修事業」に変更			指標③の公園入場者数に影響があるため、目標値を変更(対象面積で按分)			
		提案事業	市道318号線排水路改修事業				市道318号線の排水路改修事業を実施			指標①および指標②に関連するが、指標および目標値は据え置く。			
	交付期間 の変更	当 初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		-						
		変 更	-										
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標			従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
			単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
	指標1	まちづくり整備満足度	%	31	H18	50	H24	-	27	△	あり ● なし	目標値を満たすことはできなかったものの、事後評価時点で未完了の事業もあり、これらの完了により、満足度の向上を見込めると考えられる。	平成25年9月
	指標2	自転車歩行者(通行)数	人／日	4,421	H18	4,600	H24	-	2,628	×	あり ● なし	・整備によって安全な歩行者・自転車空間の確保には寄与したものの、社会情勢の変化による海外出身者の減少により、交通量の増加にはつながらなかった。 ・事後評価時点において、国道248号の歩道整備中であり、整備が完了することにより歩行者・自転車の交通量増加が見込めると考えられる。	平成25年10月
	指標3	憩いの空間入場者数	人／日	0	H19	38	H24	-	2	△	あり ● なし	・事後評価時は公園改修事業実施前であり、憩いの空間として人を集めるための魅力が不足していたと考えられる。一方で、公園周辺では歩道や車道の整備が行われているため、休憩所としての利用に留まっていると見られる。 ・実施中の事業完了に伴う入場者数の向上により、目標値の達成を見込めると考えられる。	平成25年9月

	指 標			従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
			単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)による効果発現状況	その他の 数値指標1	歩道の設置延長	m	5,680	H19			-	6,425			現在、実施中である国道248号北側の歩道 設置事業完了によって歩道設置延長が伸 びるため、歩行者・自転車の安全性確保に 寄与すると考えられる。	平成25年4月
	その他の 数値指標2	地区内クリーンパートナー活動 回数	回	0	H19			-	21			歩道設置や道路改良を行ったことにより、 まちづくりに対する地区内住民の関心が高 まり、クリーンパートナー制度への参加が 促進されたと考えられる。	平成25年4月
	その他の 数値指標3	事故発生件数	件	50	H19			-	29			・従前値と比較し、事後評価時点の事故発 生件数が減少している事から、完了した事 業の効果があつたと考えられる。 ・本指標が人身事故発生件数の値であるこ とから、歩道や横断歩道を整備したことよ る効果が大きいと考えられる。	平成25年4月
	その他の 数値指標4	地区の環境改善	%	34	H18			-	45			従前値と比較し、事後評価時点の数値が 上回っている事から事業実施の効果があつ たと考えられる	平成25年9月
4)定性的な効果 発現状況	・当該地区における商業施設の集積や、周辺の住宅地の形成により、本事業区域を含む駅北エリア全域が新たな都市の核として発展した。												
5)実施過程の評価		実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加 プロセス	道路整備を契機とした沿道の清掃活動の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● クリーンパートナー制度への登録団体数や活動回数を調査・公表し、地区 内住民のクリーンパートナー制度への参加を促す。			
	持続的なまちづくり 体制の構築	クリーンパートナー制度の利用促進				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● クリーンパートナー活動が活発になり、まちづくり活動へ発展することを期 待する。			

様式2-2 地区の概要

駅北地区(岐阜県美濃加茂市) 都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
道路交通基盤などの整備による、住む人・来る人にやさしいまちづくり ○地区住民が主体となり策定した駅北地区整備基本計画に基づき、道路、歩道の整備を行い、自歩行者道等の確保・円滑な車両交通の促進を図り、安全で快適に買い物や娯楽の楽しめるひとにやさしい元気な賑わいのあるまちづくりを誘導する。 ○地区内の空闲地を活用した公園施設を整備し、高齢者も子どもを含めた住民が身近に利用できる憩いと潤いのある空間を創出する。 ○公園施設を災害時の避難場所として活用し、排水施設の整備も合わせて行うことにより、浸水による水害等の災害に強い安心・安全で快適なまちづくりを推進する。 ○歩行者の安全を確保した賑わいのあるまちづくりにより、美濃加茂市の商業発展核として、駅南地区、中山道地区と合わせ、少子高齢化に対応した中心市街地の活性化を促進する。		【指標1】まちづくり整備満足度	単位：％	31	H18	50	H24	27	H24
		【指標2】自転車歩行者(通行)数	単位：人/日	4,421	H18	4,600	H24	2,628	H24
		【指標3】憩いの空間入場者数	単位：人/日	0	H19	38	H24	2	H24
		【その他の数値指標1】歩道の設置延長	単位：m	5,680	H19			6,425	H24
		【その他の数値指標2】地区内クリーンパートナー活動回数	単位：回	0	H19			21	H24
		【その他の数値指標3】事故発生件数	単位：件	50	H19			29	H24
		【その他の数値指標4】地区の環境改善	単位：％	34	H18			45	H24
■基幹事業【道路】市道318号線道路改良事業									
■基幹事業【道路】市道166号線道路改良事業									
■基幹事業【道路】市道167号線他8路線道路改良事業									
■基幹事業【道路】市道167号線他8路線道路改良事業									
■基幹事業【道路】市道167号線他8路線道路改良事業									
■提案事業【地域創造支援事業】排水路改修事業									
■基幹事業【道路】国道248号歩道設置事業									
■基幹事業【公園】大塚公園改修事業									
まちの課題の変化		・地区内の道路や歩道の整備、横断歩道設置により、歩行者、横断者の安全を確保することができた。一方で、歩行者の適切な誘導のため公共サイン設置事業を実施する必要がある。 ・主要道路である国道41号BP線、国道248号BP線の歩道整備、横断歩道設置により歩行者、横断者の安全を確保することができた。 ・大塚公園改修事業を実施により、憩いや潤いのある空間創出への寄与が見られる。一方で、他の公園施設整備に関する事業が未実施となっており、実施する必要がある。 ・道路整備事業や排水路改修事業により排水機能が向上した。一方で、緊急時避難施設の更なる確保を行う必要がある。							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		・歩行者や自転車の安全確保を持続するため、これらが通行する空間の更なる確保や商業ゾーンを中心とした歩道安全対策事業の実施を検討する。 ・公共サイン設置による歩行者の適切な誘導を検討する。 ・公園施設整備による憩い空間の創出を図る。 ・公園施設整備による緊急時避難場所を確保する。 ・交通状況の改善のため、現在の交通状況に即した交通誘導を行う。							